

人間科学部

コミュニティ福祉学科

No.	テーマ	内容	教員名
131	コミュニティと幸せ	コミュニティって何でしょうか？私たちはコミュニティを基盤として他者とともに生活を営んでいます。私たちとは誰のことでしょうか？子ども高齢者も障がいのある人もない人も男性も女性もLGBTQも外国籍の人々もコミュニティで生活を営んでいます。あなた自身も子どもから大学生になったり、病気になったり、高齢者になったりいろんな属性をもつ可能性があります。福祉とは幸せという意味であり、誰もが幸せになる権利を持っています。多様な属性をもつ誰もが幸せになれるコミュニティをどうつくることができるのかを一緒に考えてみましょう。	朝倉 美江
132	コミュニティデザインと福祉	コミュニティデザインは、地域の人が地域の課題を解決できるようデザインの手でサポートします。一般的なチラシ等のデザインとは異なり、アイデアの出し方やまとめ方、チームの作り方や実践の仕方などを「デザイン思考」で考えていきます。そして人と人をつないで活動を作り出すことで、地域活性化に貢献することを目指します。近年、福祉の分野でも病院や介護施設の建設、あるいはコロナ禍による高齢者の孤立予防対策や活動の場づくりにコミュニティデザインの手法が用いられています。全国で行われているプロジェクトの事例を分かりやすく紹介し、高校生でも実践できるコミュニティデザインについて一緒に考えていきましょう。	岩垣 穂大
133	私たちの生活と福祉	福祉という言葉を聞くと何を思い浮かべますか？学校などで福祉体験学習をしたことがある方も多いと思いますので、そのことを思い出すかも知れません。しかし、私たちが大学で教えている福祉は、生活により身近な課題を含みます。福祉とは何かについて、福祉サービスの枠にとらわれず、私たちの生活という視点から説明します。	遠藤 希和子
134	日本にいる外国人の暮らしと福祉	グローバル化が急速に進むなか、日本にいる外国人(3ヶ月以上滞在者のみ)も着々と増えてきています。出入国在留管理庁の発表によると、2022年末の在留外国人数は初めて300万人を超え307万5213人に達し、過去最高を更新しました。愛知県の在留外国人数は東京都に次ぐ規模で、2022年6月末現在28万人を超え、県内総人口の3.74%を占めます。この300万人超の外国人のうち、6~7%が65歳以上の高齢者と言われています。ほかに子どもや、障がい・病気を抱えている方、要介護状態の方、言葉の壁に阻まれ住民サービスや福祉制度へのアクセスがしづらい方も多くいます。このように、日本にいる外国人は子育て、就学、働き、病気治療、介護などにおいてどんな状況に置かれているか、また、どんな社会保障制度や住民サービスが利用可能か、多文化共生の視点から一緒に考えませんか。	王 文亮
135	「普通」をあらためて考える —障害学の視点から—	社会にはさまざまな人がいます。あなたも、私も、一人ひとりが異なる人です。しかし時に「普通」という考えに悩んだり苦しんだりすることがあります。そもそも「普通」ってどういうことなのでしょう。障害のある人たちは「障害(者)」と「健常(者)」という枠組みを問い直し、誰もが「ノーマルな生活」を営める社会づくりを発信・実践してきています。障害とは何かを手がかりに、差異を認め合い、誰もが尊重されて自分らしく生活できる社会について、一緒に考えてみましょう。	鍛冶 智子
136	福祉の楽しさと「コミュニティ福祉」	社会福祉は、子どもの頃や子育てをしている時、年をとった時、心身が不自由になった時、貧乏になった時など、「自立した生活」が困難になった時に私たちを支えてくれる、大切な制度と実践です。福祉は「マジメ」というイメージを与えることもありますが、地域で住民たちが創り出す「つながりづくり」を素材に、「福祉の楽しさ」をお話しします。	柴田 謙治

金城学院大学 2024出前授業

<p>137</p>	<p>スポーツを測定して評価する</p>	<p>みなさんの50m走タイムや握力は、いくつかご存知ですか。体力測定は、自分自身のスポーツパフォーマンスを、測定して、数値化したものです。では、みなさんの50m走タイムは速いですか。遅いですか。例えば、100m走の世界記録と比較したら、みなさんの記録は遅いといえます。では、皆さんは体力がある方ですか？ない方ですか？そもそも体力とは何ですか？体力測定をどのように評価すれば、体力があると言えるのでしょうか。この講義では、体力測定のような身近なスポーツの測定方法や、その結果の統計処理方法を学び、スポーツ科学の楽しさを伝えるものです。</p>	<p>高橋 和文</p>
<p>138</p>	<p>「福祉×〇〇」で社会の変革をデザインする！ 《10月より開講》</p>	<p>SDGsの17番目のゴールは「パートナーシップで目標を達成しよう」ですが、福祉の分野でも「福祉×環境」、「福祉×農業」、「福祉×モビリティ」など、他の分野とのパートナーシップによる実践が愛知県内、そして全国各地で広がりを見せています。福祉は、人の生活を基盤にする学問であり、方法であるからこそ、異分野や異文化、営利企業や非営利組織をつなぎ合わせるポテンシャルを秘めています。私自身も研究や実践に関わってきた、「福祉×〇〇」の具体的な事例を紹介しながら、社会の変化と一緒にデザインしてみませんか？</p>	<p>橋川 健祐</p>

※ 授業は約50分を予定しています。

【お申込み・お問い合わせ】

金城学院大学 入試広報部

電話：0120-331791 e-mail：nyushi@kinjo-u.ac.jp



本学「受験生応援サイト」